



NO. 12

令和3年3月1日

神根小だより

3月号 川口市立神根小学校

在籍児童数 男子(188)名 女子(144)名 計(332)名 15学級

「地元の偉人に学ぶ 渋沢栄一・伊奈忠治」

校長 中村 義郎

埼玉ゆかりの「3偉人」をご存じでしょうか。

はなわほきいち しぶさわえいいち おぎのぎんこ

埴保己一、渋沢栄一、荻野吟子です。

中でも渋沢栄一は、今年の大河ドラマの主人公であり、2024年に発券される予定の新一万円札の肖像となることも決定しており、今、非常に注目が集まっている人物です。

渋沢栄一は、主に幕末から明治時代にかけて活躍した人物で、近代日本経済の父と言われています。銀行の設立や500以上にも及ぶ企業の設立に関わり、それらの企業は今も日本の経済を支えています。

渋沢栄一は、「論語」の精神を重んじ、企業理念の中に道徳的な価値観を取り入れ、多くの名言を残しています。それらの名言からをいくつか紹介させていただくとともに、私の個人的な感想を記したいと思います。

「夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず」

夢をもつことは、人にとってあらゆることの原動力になります。子供たちにとって、将来の夢をもつことは、充実した今を生きるためにも非常に重要なことだと思います。

「長所を発揮するように努力すれば、短所は自然に消滅する」

人には誰でも長所、短所があります。短所を直そうとすることに重きを置きがちですが、強みを伸ばそうとすることで、ポジティブな考え方ができそうです。

「もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である」

学ぶということに終わりはありません。特に変化の激しい現代においては、学び続けようとするのが大切です。これくらいと満足してしまつては、現状維持も難しいといえるでしょう。頑張りすぎはよくありませんが、常に学ぶ姿勢を持ち続けることが大切です。

川口市ゆかりの偉人も多くいます。その中でも神根小からも近い赤山にゆかりの地が

いなただはるある伊奈忠治という人物がいます。忠治は徳川家康に仕えた伊奈忠次の子です。

忠治は、赤山に陣屋を構え、その地は赤山城址としてその名残を残しています。新設された公園「イイナパーク川口」の「イイナ」は「伊奈」からとったものだそうです。

忠治は、平坦で川が多いため大雨の度に大洪水を起こしていた当時の関東で治水工事を行った忠次の後をつぎ、「利根川東遷」という工事を行いました。これは、当時東京湾に注いでいた利根川を現在のように銚子沖の太平洋へ注ぐ川に変えるという大工事です。今行おうとしても相当な大プロジェクトですが、この工事を400年も前に構想し、そして成功させたのは驚きです。この工事によって、関東地方の洪水が減り、現在のように栄えたと言ってもいいのではないのでしょうか。

地元の偉人の足跡を辿り、その教えを誇り、生かすということは意義あることだと思います。紹介いたしました。

さて、コロナ対応に終始した令和2年度も残すところ1ヶ月となりました。保護者・地域の皆様には多方面にわたりご理解、ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今暫く辛抱する期間は続きそうですが、できることを積み重ね、職員一同神根小の子供たちのために努力して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。